

あのヴェネルディから 初の4H専用モデル

VENERDI MICHELE

ヴェネルディ・ミケーレ

☎052-383-6111
http://www.cosmic-inc.com

鋳造

1
ピース

15
インチ

16
インチ

17
インチ

PHOTOCOPY/浦野浩之

WHEEL COLLECTION

06

VENERDI MICHELE
SIZE & PRICE

SIZE	INSET(mm)	P.C.D.(mm)	HOLE	PRICE
4.5×15	43	100	4	¥24,840
5.0×16	45	100	4	¥27,000
6.0×16	45	100	4	¥28,080
5.5×17	45	100	4	¥30,240
7.0×17	43.53	100	4	¥31,320

■COLOR:ブラックポリッシュ、
BMCポリッシュ(15インチ/¥8,640高、16インチ/¥9,720高、
17インチ/¥10,800高)

Kカー&コンパクトに狙いを絞ったヴェネルディ初の4H専用モデルとなるミケーレ。15〜17インチという小径ディスクのなかで伸びやかさを引き出すため、ナットホール間に三本一対のスポークを配置することで、すべてのスポークがセンターからリムに向かって途切れることなく柔らかなアールを描く足長デザインが特徴だ。また、中央のシャープなスポークを若干太めのスポークで挟むことにより、軽快ながら質量を確保させたのもポイント。これによって天面をシャープに切削したフィニッシュでも存在感が希薄になることを見事に防いだ。フィニッシュは精悍さが際立つブラポリと優雅なデザインが堪能できるBMCポリッシュが用意されている。



ディスクは滑らかなアールによって構成。伸びやかさを表現するとともにヴェネルディらしい優雅なイメージを見事に醸し出している



トリプルのスポークはすべてナットホールの間に収まるようレイアウト。4H専用のデザインを生かし、すべてがリムオーバーとなる



リムの一部分にはミケーレを意味する“MCL”の文字が刻まれる。このクラスとしては一歩上の高級感がアビールできるアクセントだ

オススメ車種
Kカー全般、フィット、アクア

ターゲットスタイル

スモールクラスの
足もとに高級感を

4H専用設計のためコンパクト&Kカーがターゲットとなる。純正エアロなどに合わせて高級感を高めるアレンジのほか、17インチに設定される5.5JをKカーに履かせてハイインパクトな足もとを演出することも可能だ

ブラックポリッシュ

限られた 深度のなかで 奥行きある デザインを探求

取材協力/コスミック ☎052・383・6111
http://www.cosmic-inc.com

新

型のフィットやオデッセイ、ノア&ヴォクシーなど、各メーカーの注目車種ではハイインセットの傾向が強くなっている。でも、やっぱり足元は立体的でディープな造形を求めているわけで、そのギャップに頭を悩ませている状況だ。そんななかハイインセットだけど深みを与えられるデザインに注目。流麗なラウンドデザインでおなじみのヴェネルディでも、ハイインセット車向けの設定が続々。例えばミディアムクラスのミニバンで車検に対応しやすく深さの表現で有利な7.5Jを積極的に採用し、ディスク高低差20mm以上を確保することで立体感を強調している。このわずかな深度を稼ぐためにディスクを持ち上げたり、より深く見えるようなラウンド形状を追求するなど、涙ぐましい努力が注がれているのだ。

インセット53では ハブまでの深さはわずか57mm

CHECK!!

こちらは7.5J×19・インセット53のホイール裏側。これだけのハイインセットになれば、取り付け面（ハブ面）がかなり外側になるため、ディスク面だけで深さを生み出すのがいかに難しいかがわかる



コレがオススメ!

ヴェネルディ・レヴォルテ

- SIZE: 18インチ(7J~7.5J)、
- 19インチ(7.5J/8.5J/9.5J)、
- 20インチ(8.5J/9.5J)、22インチ(8.5J)
- ※上記はインセット45以上の設定サイズ



スポーク角度で見え方も変わる!



↑上の写真がレヴォルテ、下はシャラントの同サイズを同じ角度で撮影したもの。スポークの角度や形状によって深さの印象が変わるのがわかる。ラウンド感と、スポークの途中から落とし込まれた角度によって陰影の付き方も大きく変化する

ミリ単位で深さにこだわる!

←あえてリム部よりもミリ単位でディスクを持ち上げることで、視覚的に深さを生み出す工夫も。レヴォルテではスポークをリムよりも約2mm突出させて深みを強調させる工夫を採用した



【ヴェネルディ・シャラント】
□SIZE: 17.5×19-53 @8.0×19-45

ツウを気取るなら POINT! リヤの履かせ方にこだわれ!

→例えば一般的な履かせ方となる前後同サイズにすると、リヤの設定が甘めになりがち。ツウを気取るならリヤを8.0Jにして、ツライチに近付けて深さの演出を狙うのもあり。写真のシャラントならフロントよりもさらに16mmの深度が得られる



Attack
in the
GAP

「ホイール深 フェイス」インセット だけど...

写真の装着ホイールである7.0J・インセット53といえば、Mクラスミニバンの純正同等サイズ。リム幅は細くて超ハイインセットという限られた深度のなか、各メーカーはラウンド感やリムの深さなどで奥行きを追求しているのだ

VOXY ヴォクシー 松本正貴サン 40歳(大阪府寝屋川市)



- ホイール: ヴェネルディ・マデリーナ・モーダ [F/R 7.5×19・50]
- タイヤ: グッドイヤー・イーグルLS2000ハイブリッドII [F/R 225/35]
- 足まわり: 車高調

新型ヴォクシーを速攻マッチング

ヴォクシーを乗り継ぐ松本サン。納車を期に、以前から気になっていたヴェネルディの19インチと車高調を装着してバツグンのスタイリングを手にした。「見た目が良くなったのはもちろん、純正のゴツゴツした乗り心地がどれだけ変化するかも楽しみです!」。